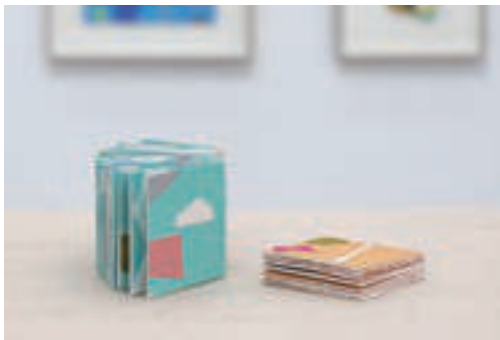
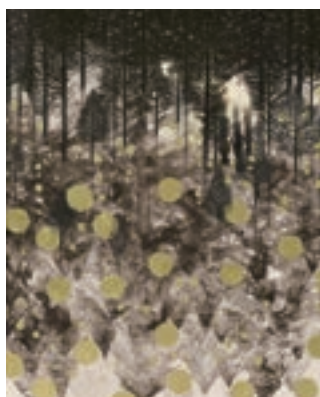




ギャラリー 82

〒380-0936 長野市岡田178-13(八十二別館 1階)  
TEL.026-224-0511/FAX.026-224-6452



Re-SHINBISM 1  
そして未来へ

2022.10.6<sup>thu</sup>—10.23<sup>sun</sup>

9:30—17:00 (土・日・祝 10:00—17:00) 入場料無料[会期中無休]

お問い合わせ＝信州アーツカウンシル((一財)長野県文化振興事業団 アーツカウンシル推進室)

〒380-0928 長野市若里1-1-4県立長野図書館内1階 TEL.026-223-2111 FAX.026-223-2112 E-mail: info@shinbism.jp

SHINBISM 2022  
シンビズム

シンビズムは、2016年度より本江邦夫 長野県芸術監督のもと、県内美術館などの学芸員が所属を超えて交流し、同じ立場で協議しながら信州ゆかりの出品作家を選定、これまでに第1回～第4回展まで計14会場にて全65名の作家を紹介して参りました。

その活動は全国でも稀有な取り組みとして注目を集めています。本展は、シンビズムの原点となったシンビズム1の作家たちに焦点をあて、県内4ブロックで同時開催した作家の作品が長野市に一堂に会することで、その後の5年間で振り返り、作家たちがいかに進化し、現在どのような作品を手掛けているか、今を見つめる企画展としたいと考え、「Re-SHINBISM1 そして未来へ」と名付けました。

「Re」には、「再び」の他に、Reconsider(再考する)、Reborn(再生)、Relate(共感する)、Respect(尊重する)の意味も込

# Re-SHINBISM1 そして未来へ

めています。

ご来場の皆様とともに改めてシンビズムの意義や長野県の現代美術を考える機会にできればと思います。本事業の継続的な実施により、現代作家への全県の支援や、学芸員の意識共有・資質の向上を図り、県内美術館・博物館のネットワーク化を促進し、県全体の美術振興につなげていきたいと考えています。

\* 展覧会名の「シンビズム」には「信州の美術の主義」の他、新しい美術、真の美術、親しい美術等の意味を込めています。

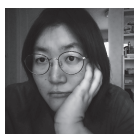
## ■ イベント情報(予定)

10/8[土]13:30～

作家、顧問、学芸員によるギャラリートーク

会期中の週末には対話型鑑賞イベント等を予定

\* 会期中のイベントの詳細は、決定次第シンビズム公式サイト等にてご案内いたします。



### 小林冴子(油画等)

《Remember the light》2021年  
キャンバスにアクリル



### サム・プリチャード(写真)

《Midnight in a Perfect World》2020年  
アルミ製デジタルプリント



### 阿部祐己(写真)

《二本の木》2022年  
写真・映像



### 高橋広平(写真)

《月下に集う》2020年  
写真(木製パネル)



### 常田泰由(版画)

《mb70, mb38》2020年  
コラージュ、無線綴じ



### 千田泰広 (インスタレーション)

《Myrkviðr at Luminale》  
2020年  
写真:ラルフ・ヴェルナー  
ルミナール/フランクフルト、  
ドイツ  
ナイロン糸、アルミ、LED、  
モーター



### 森泉智哉(絵画)

《kici》2022年  
アクリル絵具



### 藤沢まゆ(染色)

《美しい足音》2019年  
綿布



### ナカムラマサ首 (ステンドグラス、絵画)

《ANGLEWIDER》2016年  
ステンドグラス



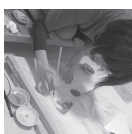
### 小野寺英克(彫刻)

《水面に浮かび上がった動物》  
2007年  
杉・桐・紅松に彩色



### 角居康宏 (金属造形)

《オペリスク I》2019年  
アルミニウム 鉄



### 中村恭子 (日本画)

《書割少女》  
2020-21年  
絹本彩色、  
四幅対のうち、一幅



### 鮎 万里絵(絵画)

《うぶすなのやまの真ん中の》  
2020年  
紙、マーカーペン



### 矢島史織(日本画)

《光の森》2021年  
雲肌麻紙、膠、墨、岩絵具、  
金箔



### 深沢尚宏 (絵画・グラフィックス)

《椿》2021年  
アクリル絵具、岩絵具、金箔、  
プラチナ箔、紙、木製パネル

主催＝信州アーツカウンシル((一財)長野県文化振興事業団)、長野県／共催＝(公財)八十二文化財団

令和四年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業

顧問＝松本透((一財)長野県文化振興事業団理事、長野県立美術館長)／運営アドバイザー＝石川利江(ISHIKAWA地域文化企画室代表)／企画・構成＝信州ミュージアム・ネットワーク「シンビズム2022」ワーキンググループ:名取淳一・中嶋実(小海町高原美術館)、工藤美幸(佐久市)、佐藤聡史(丸山晩霞記念館)、大竹永明(東御市梅野記念絵画館・ふれあい館)、由井はる奈・伊能あずさ(佐久市立近代美術館)、鷹野雪菜、宮下真美(軽井沢ニューアートミュージアム)、清水雄・山極佳子(上田市立美術館)、加藤泰子(心の花美術館 in 上田)、山岸吉郎・河西見佳(イルフ童画館)、丸山綾(諏訪市教育委員会)、前田忠史・中田麻衣子(茅野市美術館)、赤羽義洋(アンフォルメル中川村美術館)、小松由以(信州高遠美術館)、武井敏((公財)碓山美術館)、三澤新弥・塩原理絵子(安曇野市教育委員会)、富永淳子(安曇野高橋節郎記念美術館)、伊藤幸穂(木曽町教育委員会)、梨本有見(須坂版画美術館)、布谷理恵(千曲市アートまちかど)、田中新十郎(田中本家博物館)、阿部澄夫((一社)一本木公園バラの会 信州中野銅石版画ミュージアム)、鈴木一史(山ノ内町立志賀高原ロマン美術館)、矢ヶ崎結花、小林宏子(前中野市立博物館)、小林ゆり香(葦崎大村美術館)、伊藤羊子((一財)長野県文化振興事業団)

書籍『シンビズムの軌跡 信州ミュージアム・ネットワークが生んだアートプロジェクト』好評発売中

企画 | 一般財団法人長野県文化振興事業団 定価 | 1980円(税込) 発行元 | 信濃毎日新聞社

